

2023年8月8日

各位

会社名 株式会社エムケイシステム
代表者名 代表取締役社長 三宅 登
(コード番号：3910 東証スタンダード)
問合せ先 取締役 管理統括 吉田 昌基
(TEL. 06-7222-3394)

**特別損失の計上、業績予想の修正及び配当予想の修正並びに
役員報酬の減額に関するお知らせ**

当社は、2024年3月期第1四半期決算において、下記のとおり特別損失の計上を行うとともに、本日開催の取締役会において、2023年6月29日付「業績予想の修正に関するお知らせ」にて未定と公表しておりました2024年3月期の第2四半期（累計）連結業績予想及び通期連結業績予想について、合理的な算出が可能となったため、下記の通り修正するとともに、2024年3月期における年間配当予想も合わせて修正することを決議いたしましたので、お知らせいたします。

また、この度の修正を真摯に受け止め、経営責任を明確にするため、役員報酬の減額等を決定いたしましたので、併せてお知らせいたします。

株主、投資家を始めとする関係者の皆さまには、多大なるご迷惑をおかけしておりますことを心からお詫び申し上げます。

記

1. 特別損失の計上の内容

当社は、2023年6月6日付「第三者によるランサムウェア感染被害のお知らせ」にて公表しました通り、当社サービスを提供しているデータセンター上のサーバがランサムウェアによる第三者からの不正アクセスを受けました。（以下、「本事案」といいます。）現状において当社システムは全てのサービスのご提供を再開しておりますが、システムの復旧に当たり、新たにクラウド基盤でのサービスを提供することとなったため、ランサムウェアに感染したデータセンター内のサーバの撤去を予定しております。また本事案の調査、システム復旧及びサービス再開に当たり外部専門機関への調査委託費用、インフラ設備の再構築費用、セキュリティ強化のための費用などが発生しました。これに伴い、当第1四半期連結会計期間において固定資産除却損として125,934千円、システム障害対応費用として103,780千円を特別損失に計上いたしました。

2. 連結業績予想数値の修正について

(1) 2024年3月期 第2四半期（累計）連結業績予想（2023年4月1日～2023年9月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前々回発表予想（A）	1,506	36	40	19	3.66
今回修正予想（B）	1,136	△264	△267	△502	△92.54
増減額（B－A）	△370	△300	△307	△522	△96.19
増減率（％）	△24.6	－	－	－	－
（ご参考）前期第2四半期実績 （2023年3月期第2四半期）	1,335	40	44	16	3.11

(2) 2024年3月期通期連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前々回発表予想（A）	3,218	262	270	164	30.27
今回修正予想（B）	2,624	△180	△181	△441	△81.36
増減額（B－A）	△593	△442	△451	△605	△111.63
増減率（％）	△18.4	－	－	－	－
（ご参考）前期実績 （2023年3月期）	2,867	219	227	145	26.82

（注）本事案を受け2023年6月29日付「業績予想の修正に関するお知らせ」にて業績予想を一旦未定と公表しており、2023年5月15日に公表しました業績予想を「前々回発表予想」として記載しております。

(3) 修正の理由について

上記「1. 特別損失の計上の内容」に記載しました通り、本事案を受け、正常にサービスを提供できない状況となり、対象ユーザー様の解約や新規受注の減少の影響、システム復旧やセキュリティ強化のための各種費用といった今後の不確定要素を正確に見積もることが困難であったために業績予想を未定にしておりました。

現状において当社システムは全てのサービスのご提供を再開しており、現時点で判明している情報を基に業績予想の開示を行うことといたしました。

上記のとおり、本事案を受け、正常にサービスを提供できない状況であったことから、影響を受けた対象ユーザー様に対する6月ご利用分については請求を停止し、7月ご利用分についてもサービスの順次リリースに伴う日割りでのご請求となりました。また、対象ユーザー様の解約や新規受注の減少の影響により、今後の売上の減少が見込まれます。これらの結果、連結ベースの売上高が大きく減少する見通しとなります。それに伴い、営業利益及び経常利益についても大幅な減益を見込んでおります。

また、上記「1. 特別損失の計上の内容」のとおり、固定資産除却損及びシステム障害対応費用を特別損失として計上することで、親会社株主に帰属する四半期純利益及び親会社株主に帰属する当期純利益についても当初の予想を下回る見通しであります。

上記に鑑み、第2四半期（累計）の連結業績予想及び通期連結業績予想を修正いたしました。

3. 配当予想の修正について

(1) 修正の内容

	年間配当予想 (円)		
	第2四半期	期末	合計
前回発表予想 (2023年5月15日公表)	—	8円00銭	8円00銭
今回修正予想	—	4円00銭	4円00銭
当期実績			
前期実績 (2023年3月期)	0円00銭	8円00銭	8円00銭

(2) 修正の理由について

当社は、剰余金の配当につきましては、経営上の重要事項の一つとして位置付け、株主の皆さまへの安定的な利益還元を重視し、各連結会計年度の業績、連結財務状況、今後の事業展開等を総合的に勘案した上で、期末配当を継続的に実施することを基本方針としております。

配当予想につきましては、当該基本方針を踏まえつつ、配当の継続性を考慮するとともに、業績見通しの修正を行ったことを勘案し、年間配当額を4円に修正させていただくこととしました。

4. 役員報酬の減額について

この度の修正を真摯に受け止め、経営責任を明確にするため、役員報酬の減額を実施いたします。また、常勤監査役より監査役報酬の自主返上の申し入れがありましたので、併せてお知らせいたします。

(1) 役員報酬の減額内容

代表取締役社長 月額報酬の30%を減額
取締役(常勤) 月額報酬の10%を減額

(2) 監査役報酬の自主返納の内容

常勤監査役 月額報酬の5%

(3) 対象期間

2023年8月～2024年3月(8ヶ月間)

(注) 上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以上